

30 年度・自己評価表(クラス単位)

年令毎のクラス担任による評価を集計

A、B、C、D の 4 段階評価とする。

A --- よくできた B --- できた C --- 一部改善が必要 D --- 改善が必要

	内 容	評 価				
		A	B	C	D	適用外 クラス
生命の 保持	1. 生理的欲求を満たし生活のリズムを整えることができたか	2	4			
	2. 安全に十分留意しながら行動範囲を広げることができていたか	3	3			
	3. 基本的な生活習慣が身に付くよう子どもや保護者に十分に指導することができていたか		3	3		
	4. 気温や体調の変化に留意し体調管理を行っていたか	3	3			
	改善案等： 1. 生活リズムを整える面で職員間にズレがあった。ブリーフィングで調整を図る。 2. 保護者への指導に不十分な点があった。連絡帳の活用、関係者の統一認識を持つ。 3. 保護者への働きかけが不十分であった。定期的な情報交換を行う。					
情緒の 安定	1. 子どもの示す欲求を理解し、応えてあげることができたか	2	4			
	2. スキンシップをとり、安心を感じることでできる機会をとることができていたか	3	2	1		
	3. 自我の芽生えを理解し、それを受け止めることで情緒の安定をはかることができたか	2	4			
	4. 子どもたち一人ひとりの特性を生かし褒めることで自信が持てるような保育を心掛けていたか	3	2	1		
	改善案等： 1. シラバスとブリーフィングを利用し、担任間で共通認識を深める。					
健 康	1. 子どもの発育の個人差に配慮ができていたか	3	3			
	2. 身の回りの簡単なことは「自分でやってみよう」とする意欲を出させることができたか	3	3			
	3. おむつからパンツへの排泄の自立を計画的に進めることができたか		3			3,4,5 才
	4. 衣服の着脱、後始末などを自分でできるようになるように声掛けや配慮ができたか	3	3			
	5. 基本的な生活に必要な活動(手洗い、うがい、排泄、所持品の始末等)を自発的にさせるような声掛けをしたか	1	4			0 才
	6. 様々な動きを通して体を動かすことへの充実感や達成感を味わうことができるように配慮したか	1	4	1		

	改善案等： 1. 低月齢児と高月齢児のすみ分け手段として、職員配置を検討する。					
	内 容	評 価				
		A	B	C	D	適用外 クラス
健 康	1. 子どもの健康を意識して予防に努めたか	2	4			
	2. 感染症について理解し、保護者に伝えることができたか	2	4			
	3. 怪我に対するの予防や処置を十分に行うことができたか	1	3	2		
	改善案等： 1. 転倒してケガをする事例がある。見守り体制を見直す。 2. 体を動かす前に準備運動をする。興奮してきたら、気持ちを落ち着かせる。					
人 間 関 係	1. 子どもとの信頼関係を築き、安心できる空間をつくることができたか	3	3			
	2. 保育士や友達に興味を持ち自ら関わろうとするよう配慮できたか	2	4			
	3. 人とのつながりを大切にし、友達との信頼関係を深め仲良く遊べるような声掛けや配慮ができたか	2	3			0才
	4. 集団での遊びを通してルールを守ることや相手を思いやる気持ちをもてるよう指導できたか	1	4			0才
	5. 友達の意見に耳を傾け思いやりを持たせることができたか		2	1		0,1,2才
	改善案等： 1. 友達の意見を聞き入れることが難しい子には、側に付き、一緒に友達の話を聴いたり、気持ちを考えたり、思いやりを持って関わられるように援助する。					
環 境	1. 安心できる人的・物的環境をつくり「感覚」の働きを豊かにするように配慮できたか	1	5			
	2. 遊具や玩具を工夫し子どもが興味を持って積極的に関わることができるようにしたか	1	4	1		
	3. 季節の歌や自然に触れながら四季を感じられるようにする	3	2	1		
	4. 季節の移り変わりを楽しみ、その違いや変化に気づくような声掛けができたか	3	2			0才
	改善案等： 1. 自然に触れる機会が増えるよう、機会を逃がさないようにする。					
言 葉	1. 語り掛けを多くし、子どもたちとの言葉を使った応答的関わりを十分に行ったか	1	4			0才
	2. 発達段階に応じた絵本や歌・言葉遊びを通して語数を増やし、話すことを楽しめるような関わりができたか	1	4	1		
	3. 発達段階に応じて自分の気持ちを言葉で伝えることができるよう、傾聴的態度で子どもの話を聞くことができたか	3	3			
	4. 友達や保育者の話を聞くことができるように指導することができたか		4	1		1才

	改善案等： 1. 1.5才の頃、言葉に興味を示したら、言葉での関わりを積極的に行う。					
	内 容	評 価				
		A	B	C	D	適用外 クラス
表 現	1. 日々の活動や戸外遊びを工夫し豊かな感性が育まれるようにすることができたか	1	5			
	2. リズム遊びを通して音楽表現を楽しむことができるように配慮したか		3	2		2才
	3. 喜びや楽しさ、悔しさ等の気持ちを全身を使って表現できる機会を設け共感することができたか	4	2			
	4. 楽器の演奏や踊りを通してリズム感が養われるようにしたか		1	2		0,2才
	5. 描きたいもの、見たものを自由に描くことができるような声掛けや指導ができたか		5			0才
	改善案等： 1. リズム、楽器に関して年間を通して計画的に取り入れる。					
食 育	1. いろいろな味に親しみ、喜んで食事ができるようにしたか	3	3			
	2. 食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができたか		5			0才
	3. 食事のマナーを知り、守って楽しく食事をするような環境ができていたか		5			0才
	4. 栄養素について興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫ができたか		1	2		0,1,2才
	5. 野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい、達成感を得ることができるようにしたか	2		1		0,1,2才
	改善案等 1. 栄養素に関する活動を計画的に取り入れる。 2. 絵本やポスターを活用する。 3. 野菜栽培の資料や図鑑等を充実させ、子どもが収穫の喜びや達成感を得られるようにする。					